

## 1. 利用者の皆様へ

平素より妙高スキーパークをご愛顧頂き、誠にありがとうございます。  
当社は、「安全の確保」を経営理念の第一に掲げ、法令の遵守とともに安全輸送に努めております。

本報告書は、鉄道事業法に基づき輸送の安全確保のための取組みや安全の実態について自ら振り返るとともに、広くご理解いただくために公表するものです。

皆様からの声を輸送の安全に役立てたく、積極的なご意見を頂戴できれば幸いです。

妙高観光開発㈱ 妙高スキーパーク 代表取締役社長 手塚 邦明

## 2. 基本方針と安全目標

### (1) 基本方針

当社の経営理念の第一は、「安全の確保」です。安全管理規定に「安全に係る行動規範」として次のように掲げて、社長以下全従業員に周知、徹底しております。

- ①一致団結して、輸送の安全の確保に努めること。
- ②輸送の安全に関する法令及び関連する規定（本規定を含む）をよく理解するとともに、これを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行すること。
- ③常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めること。
- ④職務の実施にあたり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取扱いに努めること。
- ⑤事故、災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置を行うこと。
- ⑥情報は漏れないよう迅速、正確につたえること。
- ⑦常に問題意識を持ち、必要な変革に取り組むよう努めること。

### (2) 安全目標

平成 27 年度の安全目標は「索道運転事故の発生 0 件」であり、これを達成いたしました。

平成 28 年度につきましても引き続き「索道運転事故の発生 0 件」を安全目標に掲げ、安全の確保に努める所存です。

## 3. 事故等の発生状況とその再発防止措置

- (1) 索道運転事故（索道人身障害事故）  
平成 27 年度、索道運転事故の発生はございません。
- (2) 災害（地震、暴風雨、豪雪など）  
平成 27 年度、災害による運行停止はございません。
- (3) インシデント（事故の兆候）  
平成 27 年度、国土交通省へのインシデントの報告はございません。
- (4) 行政指導等  
平成 27 年度、監督官庁からの行政指導等はございません。

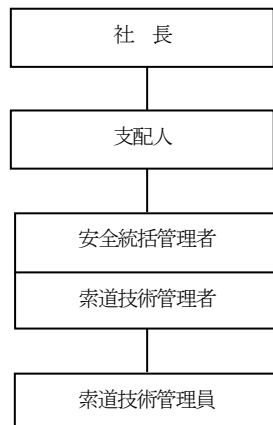
## 4. 輸送の安全確保のための取組み

- (1) 人材教育  
当社では、営業開始前に輸送や皆様の「安全の確保」を図るため施設の取扱い及び索道事故事例等の説明を行う安全教育と運転に関する知識の向上を図るための索道技術研修会を実施しています。
- (2) 緊急時対応訓練  
営業開始前に、職員一同にて救助訓練を実施しています。
- (3) 安全のための投資と支出  
安全の維持向上のため、営業収入の 1 割を目安に施設の改修を行っております。

## 5. 当社の安全管理体制

社長をトップとする安全管理組織を構成し、以下のとおり各責任者の責務を明確にしています。

また、ヒヤリ・ハット報告制度を導入し、日々の業務に反映させております。



※ 安全統括管理者が索道技術管理者を兼務する。

社長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
安全統括管理者	索道事業の輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
索道技術管理者	索道の運行の管理、索道施設の保守の管理その他技術上の事項に関する業務を統括管理する。
索道技術管理員	索道技術管理者の指導の下、索道技術管理者の行う業務を補助する。

## 6. 利用者の皆様との連携とお願い

- (1) 「当社は、お客様の声をかたちにいたします」  
より安全で信頼される索道をつくるため、皆様からお寄せいただいた声を役立てます。
- (2) リフト利用時の注意事項
  - ① 乗り方、降り方に慣れていないお客様は、係員に申し出て下さい。
  - ② ペットボトル、空き缶、煙草の吸殻、その他の物品を搬器から投げ捨てないで下さい。
  - ③ 搬器を揺らせたり、搬器から飛び降りたりしないで下さい。
  - ④ 衣服、携帯品、髪の毛などが施設に巻き付かないように注意してください。
  - ⑤ 改札後は、係員の指示に従って下さい。

## 7. ご意見、ご要望

安全報告書及び当社の安全に対する取組みへのご意見、ご要望がございましたら、下記までお寄せ下さい。

〒949-2235

新潟県妙高市関山 6323-4

妙高観光開発株式会社 妙高スキーパーク

TEL : 0255-82-4189

FAX : 0255-82-3143

E-mail info@myoko-skipark.jp

## 『安全報告書（2015年）』

妙高観光開発株式会社



妙高スキーパーク ペアリフト

この報告書は、当社における鉄道輸送の安全確保のために行っている取組みや安全の実態をまとめたものです。ご家庭に持ち帰ってお読みいただき、ご意見・ご感想をお寄せ下さい。